

東北大学第6回公開講座

「今、エネルギーを考える」の報告

東北大学大学院工学研究科が主催し、同大学流体科学研究所および日本保全学会 東北・北海道支部が共催する第6回公開講座「今、エネルギーを考える」が、令和元年12月14日（土）に東北大学流体科学研究所大講義室にて開催されました。

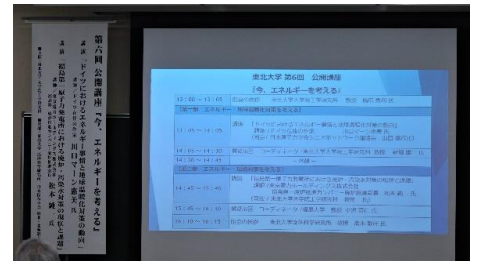
本講座は、エネルギー問題を多面的な視点から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考える素地を提供することを目的としたものです。

第6回目となる今回は、66名の方々にご来場いただき、盛会となりました。

高度な内容を大変分かりやすくご講演いただいた講師のお二方、ならびに熱心に聴講いただいた参加者および関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



<会場の様子（その1）>



<会場の様子（その2）>



<開催挨拶の様子>

開催にあたり、主催者を代表して、東北大学大学院工学研究科教授の橋爪秀利氏より、開催の趣旨と今回の講演内容等に関する説明が述べられました。



日本保全学会

東北・北海道支部

ニュースレター NO.18

2020.2

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :

north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :

022-211-9889

Address :

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉

6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内

URL :

www.jsm.or.jp/branch/index.html

第一部では、日本原子力学会シニアネットワーク連絡会の山田信行氏の司会により、「脱原発」や「エネルギー転換」を目指しているドイツのエネルギー事情に詳しいドイツ在住の作家である川口マーン恵美氏より「ドイツにおけるエネルギー事情と地球温暖化対策の動向」をテーマに講演が行われ、東北大学大学院工学研究科の新堀雄一氏をコーディネータに活発な質疑応答が行われました。



川口マーン恵美氏 ご講演の様子>

<質疑応答の様子>

第二部では、東北大学大学院工学研究科特任教授の青木孝行氏の司会により、東京電力ホールディングス(株)福島第一廃炉推進カンパニー廃炉推進室長の松本純一氏から「福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と課題」をテーマに講演が行われ、福島大学教授の小沢喜仁氏をコーディネータに活発な質疑応答が行われました。



<松本 純一氏 ご講演の様子>

<質疑応答の様子>



<閉会挨拶の様子>

閉会にあたり、主催者を代表して東北大学流体科学研究所教授の高木敏行氏より、講演内容の振り返りと第7回公開講座の開催に向けた抱負等が述べられました。